

令和 2 年度決算に係る

定期監査
決算審査
資料

令和 3 年 6 月

地域づくり推進部文化財局とっとり弥生の王国推進課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	2
5	主な事業に関する調べ	3
6	決算資料（総括表）	6
7	事業別実施状況調べ	7
8	予備費の充用調べ	11
9	繰越関係調べ	11
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱調べ	12
11	現金の取扱状況	12
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
12	財産に関する調べ	12
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	16
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	16
15	職員駐車場の管理状況調べ	16
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	16
17	備品の処分状況調べ	16
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	16
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
19	貸付金等状況調べ	16
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	16

注 個別調査事項（共通様式以外の個別資料様式に示されている事項）がある場合は、「○意見、要望等」の前に、その個別調査事項を記載すること。

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
行政財産使用料（電柱敷地）について、平成30年度にすべき調定を令和元年度に行っているものがあつた。	所属内に今回の監査の指摘事項を伝達し、同様の事態が発生しないように周知するとともに、上司が進行管理を適切に行うこととし、必要な声掛けを行い、適切な会計事務処理を徹底することを所属内で確認した。 また、年度末から年度当初に行わなければならない業務をとりまとめて所属内の電子会議室で共有し進捗管理することとし、調定事務もその中で進捗管理し、事務の遅延を防止した。

注 措置状況等の欄には、地方自治法第199条第14項の規定に基づく通知（令和元年度決算に係る定期監査結果に基づき講じた措置についての監査委員への通知）を行っている場合には、当該通知の記載事項を記載すること。当該通知を行っていない場合には、処理方針又は処理の現況を記載すること。

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合 計		備 考
	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	
定 員	15	15					15	15	
現 員	(1) 17	(1) 15	()	()	()	()	(1) 17	(1) 15	自己啓発等休業
過不足(△)	1	0					1	0	
臨 時 的 任 用 職 員									
会 計 年 度 任 用 職 員	12	13					12	13	事務職1 出土品整理作業 員11

注1 兼務職員については、本務の所属において記載すること。

2 育児休業、退職中、派遣（受入れも含む）、長期研修等の職員についても現員に含め、その人数を上段に（ ）書きするとともに、その旨及び派遣先（受入れの場合は派遣元）長期研修先を「備考」欄に記載すること。

3 過不足のある場合は、その理由を「備考」欄に簡潔に記載すること。

4 会計年度任用職員については、職種別を「備考」欄に記載すること。

5 組織改正に伴い廃止となった機関については、2.4.1現在の欄のみを記載すること。

4 役付職員の調べ

(令和3年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
課長	戸井 歩	年 1	月 2	
室長	北浦 弘人	1	11	
補佐	澤 弘一	1	11	
課長補佐	濱田 竜彦	1	2	

- 注1 事務監査又は本監査実施月のそれぞれの1日現在とする。(書面による事務監査においては、提出月)
- 2 調査対象は鳥取県行政組織規則や鳥取県教育委員会事務局等組織規則など各規則等によって定められている行政組織上の課長補佐(相当職)以上の者とする。
- 3 他の機関の職を兼務している者は、氏名の左肩に「(兼)」と記述し、「備考」欄に当該機関名及び職名を記載すること。
- 4 在職期間は、現在の職に在る期間とする。(監査実施月の前月末までの期間を記載する。)
なお、当該役付職員が、当該機関に勤務していて他の機関に転任することなく現職に任用されたものであるときは、当該機関に継続勤務している基準日までの通算期間を「備考」欄に記載すること。
- 5 組織改正に伴って廃止となった機関については、引き継いだすべての機関の役職を記載すること。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
「とっとり弥生の王国」知・楽・学事業	18,424	2,187	0	1,776	14,461
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	V-③青谷上寺地遺跡等の整備やたたら・刀剣など歴史のふるさとづくり				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

鳥取県が全国に誇る「妻木晩田遺跡」「青谷上寺地遺跡」の価値と魅力を多くの方に知っていただくため、両遺跡を「とっとり弥生の王国」として一体的に情報発信するとともに、イベントやものづくり講座、シンポジウム、遺跡を活用した様々な体験活動等の事業を行う。

(イ) 事業の実施状況

細事業名	主な内容	概要
【知：知る】	・青谷上寺地遺跡ニュースの発行 (HPに掲載するとともに、青谷町内での回覧、公民館や教育施設等に配布)	年4回発行(5,8,10,1月)
	・「むきばんだ秋の満喫ウィーク (日替わりで多様なものづくり等の古代体験を実施)	実施期間2週間、 参加者数1,146名
	・弥生の森講座 (妻木晩田遺跡で見られる樹木の観察を通して弥生時代の植生や樹木利用について学ぶ体験学習会)	参加者10名
	・妻木晩田遺跡への教育旅行誘致	校外学習(小学校:7校236名、 高校:1校12名) 修学旅行(小学校:37校1681名、 特別支援学校:1校23名)
【楽：楽しむ】	・弥生の米づくり(古代米栽培)体験事業 (弥生時代の稲作技術や食文化を学ぶための古代米栽培体験)	参加者 青谷小学校5年生38名 青谷高校2,3年生22名
	・古代米グルメ・スイーツ講座 (古代米を活用した「やよいのどうぶつクッキー」づくり)	参加者17名
	・弥生の琴づくり体験 (青谷上寺地遺跡出土品をモデルに弥生時代の琴を復元製作)	参加者25名
	・「むきばんだジュニアファンクラブ」 (弥生時代のくらしを追体験する子ども向け弥生講座)	年6回開催、参加者のべ70名
	・弥生のものでづくり講座：銅鑄造、弥生の機織り (弥生時代のくらしやものでづくり技術を知る講座)	動画配信
【学：学ぶ】	・とっとり弥生の王国土曜講座 (弥生時代のくらしや文化に対する理解を深める講座)	青谷：計3回、参加者60名 むき：計3回、参加者56名
	・とっとり弥生の王国考現学講座 (高校生向け講座、テーマ：古代建築の歴史と技術)	開催回数1回、 参加者：八頭高2年生20名
	・弥生のものでづくり講座：高坏づくり、野焼き講座	参加者計16名

	(弥生時代のくらしやものづくり技術を知る体験学習)	
	・ドローン撮影による遺跡VR体験学習会 (ドローンを活用して遺跡を撮影し、その動画を職員の解説を聞きながらリアルタイムで鑑賞する体験学習会)	参加者 20名

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・予定していた様々なイベント、講座等については、新型コロナウイルス感染拡大への対応から、縮小又は延期や中止を余儀なくされたが、開催可能なものは感染対策をしっかりと行った上で実施することが出来た。
- ・従来1日で開催していたイベントを、開催日を増やして分散開催することで3密を回避した運営に見直したり、一部の講座を動画配信形式に変更して実施した。

ウ 成果及び効果

- ・むきばんだ史跡公園の新たな取り組みとしてドローンを用いたVR体験講座を開催し、ふだん見ることの出来ない目線で参加者に遺跡の風景を楽しんでもらうことで、遺跡の新たな魅力の発信につながった。
- ・「むきばんだ秋の満喫ウィーク」イベントでは開園時間を延長して夜間ライトアップを演出し、夜の遺跡の景観を楽しんでもらうことが出来た。
- ・YouTube(動画共有サービス)で配信することで遺跡の新たな魅力を発信した。
- ・青谷上寺地遺跡の弥生の米づくり体験では、これまで小学生を対象としていたが、高校生も対象とし、「課題探求」のカリキュラムの一環として実施した。

エ 課題

- ・県内外からの鳥取県への集客をはかるため、調査研究の成果を活かし、全国に「とっとり弥生の王国」の情報を広く発信し、妻木晩田遺跡と青谷上寺地遺跡を一つのパッケージとする観光資源として磨き上げる必要がある。
- ・地域の住民に史跡の重要性を知っていただき、史跡の活用に積極的に関わっていただける仕組み作りを進める必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
史跡青谷上寺地遺跡整備事業	115,273	19,259	77,000	7,421	11,593
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	V-③青谷上寺地遺跡等の整備やたたら・刀剣など歴史のふるさとづくり				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
保存状態の良い多種多様な道具類、生活廃棄物、人骨、朝鮮半島や中国に由来する品々が出土することで知られる全国屈指の弥生時代遺跡「青谷上寺地遺跡」を適切に保存し、有効に活用するために必要な整備を実施する。					
(イ) 事業の実施状況					
史跡公園整備に係る土木工事の実実施設計を実施し、一部工事（工事中道路の設置）を施工したとともに、史跡公園ガイダンス施設の建築及び展示の設計を実施した。					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
・ガイダンス施設の設計に当たり、遺跡の調査整備活用委員会や福祉団体等と意見交換を行い、遺跡を活かした施設の特徴を出す工夫や、障がいを持つ方も安全に楽しく利用できる環境を整備するための検討を行った。					
ウ 成果及び効果					
・史跡公園整備事業については、工事中道路（将来的に園路に整備）の設置工事も計画どおり完了し、次年度の工事に支障なく着手できる見通しとなった（史跡公園南側の整備工事：令和5年度完了予定）。					
・ガイダンス施設については、建築基本設計を経て、現在実施設計を継続実施中（建築実施設計：令和3年8月完了予定）。また、展示の基本設計が3月末に完了する見込みであり、次年度から実施設計に着手できる見込みとなった（展示実施設計：令和3年10月完了予定）。					
エ 課題					
・史跡公園整備に当たり、引き続き地域住民や関係機関、福祉団体等の意見を聞きながら進めていくとともに、地域住民を始めとした県民等に史跡公園への期待感を醸成していく必要がある。					

6 決算資料

一般会計(歳入)

区分	科目	予算現額			計	調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額						
行政財産使用料		611,000	0	0	611,000	710,810	0	0		
総務費国庫補助金		119,882,000	△ 41,705,000	(29,530,200)	(29,530,200)	(28,917,200)	0	0		
物品売却収入		642,000	0	0	642,000	103,285,200	0	0		
市町村受託事業収入		15,282,000	△ 8,415,000	0	6,867,000	498,270	0	0		
雑収入		2,000,000		0	2,000,000	1,823,628	0	0		
総務債		25,000,000	19,000,000	(57,000,000)	(57,000,000)	(57,000,000)	0	0		
繰越金		0	0	(9,226,800)	(9,226,800)	(9,226,800)	(0)	(0)		
				9,226,800	9,226,800	9,226,800	0	0		
合計		163,417,000	△ 31,120,000	(95,757,000)	(95,757,000)	(95,144,000)	(0)	(0)		
				95,757,000	228,054,000	223,473,708	0	0		

一般会計(歳出)

区分	科目	予算現額			計	支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		翌年度 繰越 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額			本庁	出納機関			
文化財保護費		394,405,000	△ 75,192,000	(95,757,000)	(95,757,000)	(94,619,359)	(94,619,359)	5,920,000	(1,137,641)		
埋蔵文化財		24,605,000	△ 1,749,000	0	414,970,000	391,347,857	340,693,050	50,654,807	17,702,143		
その他				0	22,856,000	19,333,404		19,333,404	0	3,522,596	
合計		419,010,000	△ 76,941,000	(95,757,000)	(95,757,000)	(94,619,359)	(94,619,359)	(0)	(0)		
				95,757,000	437,826,000	410,681,261	340,693,050	69,988,211	5,920,000	(1,137,641)	
				0	0	0	0	0	21,224,739		

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額					
(文化財保護 費)								
(主)「とつ とり弥生の王 国」知・楽・ 学事業	24,187,000	△ 1,885,000	△ 1,393,000	20,909,000	18,424,198	2,484,802	88%	主な事業に関する調べのお り。 妻木晩田遺跡調査整備事業 (保存整備)へ1,393,000円流 用。
県内史跡等保 存活用推進事 業	112,889,000	△ 42,119,000		70,770,000	55,112,560	9,737,440	78%	市町村等が行う優れた文化財 の活用及び魅力の再発掘の取 組みに補助を行った。
青谷上寺地遺 跡発掘調査事 業	58,766,000	△ 19,256,000	△ 330,000	39,180,000	38,734,995	445,005	99%	史跡整備に必要な情報が不十 分であった遺跡北工リア(古 青谷湾との境界付近)の発掘 調査を実施した。また脆弱な 木製品等の出土品の保存、活 用のため、樹脂等を含浸する 保存処理を行った。 青谷上寺地遺跡出土品調査研 究等事業へ330,000円流用。
青谷上寺地遺 跡出土品調査 研究等事業	10,134,000		311,000	10,445,000	9,624,217	820,783	92%	青谷上寺地遺跡の出土品につ いての調査研究(人骨、土器 等)及び出土品活用のため 重要文化財の修理を行った。 青谷上寺地遺跡発掘調査事業 から330,000円流用。史跡青谷 上寺地遺跡8エントランス地 区)整備事業へ19,000円流 用。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
青谷上寺地遺跡史跡指定地公有化・維持管理事業	8,287,000		36,915,000	△ 586,700	(36,137,359) 42,409,214		(777,641) 2,206,086	95%	(繰越) 史跡指定地を計画しており公有化することができ た。 (現年) 青谷上寺地遺跡指定地内の維持管理ボランティアに対して支援を行うとともに、遺跡内の県有地の除草を行った。 史跡青谷上寺地遺跡整備事業へ586,700円流用。
(主) 史跡青谷上寺地遺跡整備事業	92,110,000	△ 37,376,000	57,492,000	3,885,700	(57,492,000) 116,111,700		(0) 839,150	99%	主な事業に関する調べのとお り。 史跡青谷上寺地遺跡8エントラ ンス地区) 整備事業から 3,299,000円流用。青谷上寺地 遺跡史跡指定地公有化・維持 管理事業から586,700円流用。
史跡青谷上寺地遺跡エントランス地区) 整備事業	0	29,260,000		△ 3,280,000	25,980,000 25,957,420		22,580	100%	青谷上寺地遺跡の展示ガイド ンス施設に係る実施設計(建 築・展示)を行った。建築に 係る実施設計は営繕課で執 行。 青谷上寺地遺跡出土品調査研 究等事業から19,000円流用。 史跡青谷上寺地遺跡整備事業 史跡青谷上寺地遺跡整備事業 へ3,299,000円流用。
むきばんだ史跡公園運営費	54,671,000				54,671,000 54,671,000		0	100%	むきばんだ史跡公園の維持管 理業務を指定管理者に委託し た。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
妻木晩田遺跡 調査整備事業 (保存整備)	10,691,000	△ 566,000		2,526,000	12,291,978		359,022	97%	経年劣化により倒壊のおそれ があった洞ノ原地区の掘立柱 建物の解体修理を行い、安全 に見学できるようにした。ま た、雨漏りの心配があった妻 木山区の掘立柱建物の屋根 を葺き替え、健全な状態に戻 した。 「とっとり弥生の王国」知・ 妻木・学事業から1,393,000円、 妻木晩田遺跡調査整備事業 (発掘調査) から1,133,000円 流用。
妻木晩田遺跡 調査整備事業 (発掘調査)	22,670,000	△ 3,250,000		△ 1,133,000	17,859,725		427,275	98%	令和元年度に引き続き妻木新 山地区2区の南側斜面の調査 を実施し、集落展開期では丘 陵斜面を生活動として積極的 に利用していたことが明らか となった。 妻木晩田遺跡調査整備事業 (保存整備) へ1,133,000円流 用。
「とっとり弥 生の王国」情 報発信事業	0		1,350,000		(990,000) 990,000		(360,000) 360,000	73%	青谷上寺地遺跡で見つかつ た弥生時代人の人骨のDNA 分析に基づく研究成果を活用 し、弥生時代人の復顔模型の 作製を行った。
目計	394,405,000	△ 75,192,000	95,757,000	(0) 0	(94,619,359) 391,347,857	(0) 5,920,000	(1,137,641) 17,702,143		
(埋蔵文化財 センター費)									
埋蔵文化財セ ンター運営費	11,118,000				10,252,524		865,476	92%	埋蔵文化財センターの施設管 理等を行った。

(単位：円)

事業名	予算現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額					
鳥取県の考古学情報発信事業	6,811,000			5,581,735		1,229,265	82%	施設見学や展示、講演会や史跡等を活用したイベントを開催するなど、積極的に情報発信を行った。また、外部専門家の指導を受けながら山城(狗尸那城)の発掘調査を行った。
鳥取西道路出土木製品調査研究事業	3,082,000			2,202,825		879,175	71%	鳥取西道路の改築に伴う発掘作業で出土した木製品について、優先順位を決めるトリアージや保存処理を行った。
埋蔵文化財等調査研究・研修事業	479,000			361,000		118,000	75%	県及び市町村の埋蔵文化財専門職員を対象とした、専門的な技術、知識等の研修を開催した。
古代山陰道(青谷地域)の調査研究事業	3,115,000 △ 1,749,000			935,320		430,680	68%	青谷平野で見つかった古代山陰道のルートや道路構造を解明するため、青谷地域の2か所で発掘調査を行った。 (不用額理由) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として発掘調査委員会をWebで開催したため、県外委員の旅費等で不用額が生じた。
目計	24,605,000 △ 1,749,000	0	0	19,333,404	0	3,522,596		
合計	419,010,000 △ 76,941,000	(0)	(0)	(94,619,359) 410,681,261	(0) 5,920,000	(1,137,641) 21,224,739		

8 予備費の充当調べ
該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費通時繰越調べ
該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位:円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳			繰越理由
				既収入特定財源		一般財源	
				国庫補助金	未収入特定財源		
文化財保護費	県内史跡等保存活用推進事業	70,770,000	5,920,000			5,920,000	新型コロナウイルスにより、文化庁調査官による現地指導及び策定委員会が開催中止・見送りとなったことやそれに伴う報告書を作成出来なかつたこと、また冒上対象地の土地収用法の事業認定に時間を要することとなり事業完了が困難となったため。
目計		70,770,000	5,920,000	0	0	5,920,000	
合計		70,770,000	5,920,000	0	0	5,920,000	

(3) 事故繰越調べ
該当なし

10 収入証紙取扱調べ

有 〇 無

11 現金の取扱状況

該当なし

12 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
		鳥取市国府町宮下1260	5,720.49	70,500,864	増加							5,720.49	70,500,864	
		鳥取市秋里390	5,722.00	0	増加							5,722.00		
	埋蔵文化財センター	鳥取市源太下廿人割90	7,900.00	0	増加							7,900.00		
		鳥取市国府町宮下1262	9,470.14	0	増加							9,407.14		
	史跡青谷上寺地遺跡	鳥取市青谷町字上寺地、字法華寺、字イタラズ	77,908.40	1,010,126,920	増加	R2.12.1他	7,540.00	62,483,400	購入	R2.6.22他		85,448.40	1,072,610,320	個人より購入
	史跡妻木院田遺跡	西伯郡大山町妻木、長田、米子市淀江町大字福岡	1,453,899.00	3,435,666,715	増加	R2.10.21	37,758.00	0	所管換え	R2.7.22		1,491,657.00	3,435,666,712	とっとり働き方改革支援センターより移管
計			1,560,620	4,516,294,499			45,298.00	62,483,400				1,605,855.03	4,578,777,896	

行政・普通 財産の 区分	機関又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減 別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登 記 年 月 日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮 下1260	1,419.26		増加						1,419.26		
	埋蔵文化財センター(秋里分 室)	鳥取市秋里390	1,895.00		増加						1,895.00		
	埋蔵文化財センター(青谷調査室 洗浄棟)	鳥取市青谷町青 谷667	39.83		増加						39.83		
	埋蔵文化財センター(美和調査 事務所)	鳥取市源太下廿 人割90	1,806.68		増加						1,806.68		
	埋蔵文化財センター(積善分 館)	鳥取市国府町宮 下1262	2,099.19		増加						2,099.19		
	妻木晩田遺跡事務所	西伯郡大山町妻 木字晩田	493.42		増加						493.42		
	妻木晩田遺跡ボランティア休憩 所	西伯郡大山町妻 木字晩田	213.04		増加						213.04		
	史跡妻木晩田遺跡(東屋3棟)	西伯郡大山町妻 木字晩田	58.08		増加						58.08		
	妻木晩田遺跡(危険物保管庫)	米子市淀江町	5.49		増加						5.49		
	妻木晩田遺跡ガイダンス棟	西伯郡大山町妻 木字晩田	837.52		増加						837.52		
	妻木晩田遺跡遺構展示館	西伯郡大山町妻 木1115-94外	268.56		増加						268.56		
	弥生の森休憩舎	西伯郡大山町妻 木1078外	71.73		増加						71.73		
	むきぼんだ公園遺物収蔵庫	米子市淀江町福 岡24	50.78		増加						50.78		
	むきぼんだ公園自転車倉庫	米子市淀江町福 岡24	9.30		増加						9.30		
むきぼんだ公園機械収蔵庫	米子市淀江町福 岡24	20.22		増加						20.22			
計			9,288.10								9,288.10		

ウ山林

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	土地の権利の区分	機関又は施設名等	所在地	土地の面積等				立木の推定蓄積量				備考	
				前年度末面積(m ²)	本年度異動状況			本年度末面積(m ²)	前年度末現在高(m ³)	本年度中増減高(m ³)	本年度末現在高(m ³)		
					増減別	異動日	面積(m ²)						増減理由
行政財産	所有	史跡妻木晩田遺跡	西伯郡大山町妻木、米子市淀江町大字福岡外	20,541.65	増加					20,541.65			
					増加								
				20,541.65	減少								
					減少								
計				20,541.65						20,541.65			
合計				20,541.65						20,541.65			

エ 不動産売却等

イ 財産の交換

ロ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

キ 物権

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

ケ 有価証券

コ 出資による権利

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 (無)

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

(令和3年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額 円	件数	増		減		金額 円	件数	
			金額 円	件数	金額 円	件数			
行政財産使用料	51,720	5			26,240	2	25,480	3	とっとり弥生の王国推進課
行政財産使用料	49,450	3			11,240		38,210	3	むきばんだ史跡公園
行政財産使用料	25,500	3	85,680	2	16,500	1	94,680	4	埋蔵文化財センター
合計	126,670	11	85,680	2	53,980	3	158,370	10	

- 13 財産の貸付及び使用許可調べ 該当無し
- 14 借受不動産明細調べ 該当無し
- 15 職員駐車場の管理状況調べ 該当無し
- 16 寄附物件の受納状況調べ 該当無し
- 17 備品の処分状況調べ 該当無し
- 18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
(1) 亡失、損傷の報告状況 有・無
(2) 物品確認の実施状況 有・無
- 19 貸付金等状況調べ 該当無し

○ 意見、要望等 なし